

## データベースの概要

注射薬および経管経腸栄養剤におけるナトリウムイオンやカリウムイオンなどの電解質に関するデータベースです。

処方設計時に電解質量の算出を行うことが可能です。

## データベースの特徴

該当する薬品における有効成分の電解質の種類と、100mL（液剤）又は1g（固形剤）当りの電解質濃度の情報です。

### 例

『ソリター-T3号輸液』の添付文書（抜粋）

1. 組成  
本剤は下記の成分を含有する。

成分	1袋(200mL)中	1袋(500mL)中
塩化ナトリウム	0.18g	0.45g
塩化カリウム	0.298g	0.745g
L-乳酸ナトリウム	0.448g	1.12g
ブドウ糖	8.6g	21.5g

  

添加物	1袋(200mL)中	1袋(500mL)中
L-乳酸(pH調節剤)	適量	適量

熱量：34kcal(200mL中)、86kcal(500mL中)

電解質濃度 (mEq/L)			
Na <sup>+</sup>	K <sup>+</sup>	Cl <sup>-</sup>	L-Lactate <sup>-</sup>
35	20	35	20

『ソリター-T3号輸液』のデータ（概略）

電解質の種類	mEq/100mL
Na <sup>+</sup>	3.5
K <sup>+</sup>	2
Cl <sup>-</sup>	3.5
Lactate <sup>-</sup>	2

『ホスミンS静注用0.5g』の添付文書（抜粋）

2) 本剤は14.5mEq/g(力価)のナトリウムを含有するので、心不全、腎不全、高血圧症等ナトリウム摂取制限を要する患者に投与する場合は注意すること。

『ホスミンS静注用0.5g』のデータ（概略）

電解質の種類	mEq/g
Na <sup>+</sup>	14.5

## データベースの機能

### 処方設計を支援

処方量から各薬品の電解質の摂取量を算出することが可能です。

電解質量のコントロールが必要な患者さんの処方設計のための情報としてご利用いただけます。

### 例

『ソリター-T3号輸液』と『ホスミンS静注用0.5g』が処方された場合に、処方量からナトリウムイオンの摂取量を算出します。

患者さんのナトリウムイオンの適正摂取量を予め登録しておく、算出されたナトリウムイオンの摂取量との比較を行うことが可能です。

処方例

『ソリター-T3号輸液』1000mL（製剤量）	1日1回
『ホスミンS静注用0.5g』2g（力価）	1日1回
▼ 処方薬のナトリウムイオンの摂取量を算出	
ナトリウムイオン摂取量 = 10 × 3.5 + 2 × 14.5 = 64mEq	

### 高品質な医薬品情報データベースで様々な課題を解決

データインデックスの医薬品情報データベースは、薬剤師や専門スタッフによる日々のメンテナンスと独自の情報処理技術を基盤としています。豊富な情報量と高い品質を兼ね備え、医薬品情報によって病気の治療や健康をささえる「情報医療」の推進に貢献します。

詳しくはこちらから → <https://www.data-index.co.jp/>

